

関係各位

熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について

近年の夏季における猛暑日などの気候状況を考慮し、工事現場の熱中症対策に係る経費に関して、下記のとおり現場管理費の補正を試行することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 用語の定義

(1) 真夏日

日最高気温が30度以上又は暑さ指数(WBGT)※が25度以上となる日をいう。ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が30度以上又は暑さ指数(WBGT)が25度以上の場合とする。

※暑さ指数(WBGT)：湿度、輻射熱、気温を取り入れた指標

(2) 工期

工事の始期から工事の終期までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。

なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。

(3) 真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

$$\text{真夏日率} = \text{工期期間中の真夏日} \div \text{工期}$$

※真夏日率は小数第3位を四捨五入して第2位止めとする。

2. 対象工事

西海市が発注する事業（営繕事業は除く。）において、主たる工種が屋外作業である工事を対象とする。

ただし、工場製作工を含む工事は当該期間を工期から除くものとする。

3. 積算方法等

(1) 補正方法

現場管理費の補正は、工期中の日最高気温又は暑さ指数(WBGT)の状況に応じて補正値を算出し、現場管理費率に加算する。なお、補正は変更契約において行うものとする。

$$\text{熱中症補正値}(\%) = \text{真夏日率} \times \text{補正係数} \ast$$

※補正係数：1. 2

※熱中症補正値は小数第3位を四捨五入して第2位止めとする。

(2) 現場管理費

・土木工事標準積算基準・電気通信設備積算基準・機械設備積算基準・水道事業実務必携・土地改良工事積算基準による工事

対象純工事費 × ((現場管理費率 × 補正係数) + 熱中症補正値)

- ・ 港湾・漁港請負工事積算基準・空港請負工事積算基準書による工事

対象純工事費 × (現場管理費率 + 補正係数 + 熱中症補正值)

4. 適用

本試行は、令和7年7月1日以降に起工する工事から適用する。

なお、既に起工又は契約済みの工事で、工期が令和7年7月以降残存している工事において受注者からの申し入れがあった場合には、発注者と受注者による協議の上で適用することも可能とする。

5. その他

運用については、別紙1の通りとする。

熱中症対策に資する現場管理費の補正にあたっての考え方

1. 気温の計測方法等

(1) 計測方法

受注者は、工事着手前に提出する施工計画書等に工事期間中における気温又は暑さ指数（WBGT）の計測方法及び計測結果の報告方法を記載し提出。請負額 500 万円未満の工事については、工事指示及び記録簿に記載し提出。

施工現場から最寄りの気象庁が公表している観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。

なお、WBGTを用いる場合は、WBGTが25℃以上となる日を真夏日と見なす。

●運動に関する指針

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31℃以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
31～35℃	28～31℃	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28～31℃	25～28℃	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24～28℃	21～25℃	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21℃未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

※暑さに弱い人:体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など
(公財)日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2019)より

ただし、これによりがたい場合は、施工現場を代表する1地点で気象庁の気温計測方法に準拠した方法により得られた計測結果を用いることも可とする。

なお、計測に要する費用は受注者の負担とする。

(2) 計測結果の報告

施工計画書等に基づき、計測結果の資料を提出させるものとする。

2. 積算方法等

受注者より提出された計測結果の資料をもとに、「熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について」に基づき、真夏日率を算出し現場管理費率に加算するものとする。

なお、「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」及び「緊急工事の場合」と重複する場合においても最高2%とする。

3. 既に起工又は契約済みの工事における変更

(1) 気温の計測期間

令和7年7月1日以降に受発注者協議により「基準日」を定め、当該基準日から工期末までの期間のうち、真夏日にあたる日数を計測するものとする。

なお、計測方法等については、1. に準じること。

(2) 積算方法等

既に起工又は契約済みの工事における真夏日率の算出方法は、以下の式によるものとする。

$$\text{真夏日率} = \text{基準日から工期末までの真夏日} \div \text{工期}$$

その他の積算方法は、「熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について」の3. 積算方法等によるものとする。

また、熱中症補正值、真夏日率とも小数第3位を四捨五入して第2位止めとする。

4. 対象工事である旨等の明示

熱中症対策に資する現場管理費の補正の工事の対象とし、日最高気温又は暑さ指数(WBGT)の状況に応じた現場管理費の補正を行う対象工事である旨等を公告文、特記仕様書等に明示するものとする。

5. 施工箇所点在型への適用

施工箇所点在型工事については、点在する箇所毎に補正を行うことができるものとする。

6. その他

上記の取扱いについて、地域の実情等により、対応が困難な場合については、これらに寄らないことができる。

気温の確認方法 気象庁 HP「各種データ・資料」

国土交通省 気象庁 Japan Meteorological Agency

ENGLISH Other Languages 文字サイズ変更 標準 大

気象庁 防災情報 気象庁 気象庁 気象庁 YouTube Google 提供 検索

ホーム 防災情報 **各種データ・資料** 地域の情報 知識・解説 各種申請・ご案内

気象庁ホーム > 各種データ・資料

各種データ・資料

気象庁が持つ様々なデータをご紹介します。
防災情報は[こちら](#)からご確認ください。

全般

- 数値データページリンク集
- 災害をもたらした台風・大雨・地震・火山等のとりまとめ
- 気象庁情報カタログ
- 気象庁防災情報XMLフォーマット

気象

- 気象観測データ
 - 最新の気象データ
 - 過去の気象データ検索
 - 過去の地点気象データ・ダウンロード**
 - 過去の地域平均気象データ検索
 - 過去の天気図 / 日々の天気図
 - 過去の台風資料
 - 梅雨入りと梅雨明け 速報値
 - 全国災害時気象概況
 - 竜巻等の突風データベース

地球環境・気候

- 地球環境・気候
 - 地球環境・気候情報の総合ページ
 - 地球温暖化情報ポータル
- 異常気象
 - 日本の異常気象
 - 世界の異常気象
- 天候の特徴や見通し
 - 気候系の監視・診断
 - 日本の天候の特徴と見通し
 - 年・季節・各月の天候

海洋

- 海洋
 - 海洋の情報 波浪 / 海水温・海流 / 海水
 - 海洋の健康診断表
 - 海洋の実況や見通し
 - 日本沿岸の潮位
 - オホーツク海の海水
 - 日本近海の海面水温 月概況 / 旬の状況と今後の見通し
 - 日本近海の海流 月概況 / 旬の状況と今後の見通し
 - 海洋の観測・解析データ

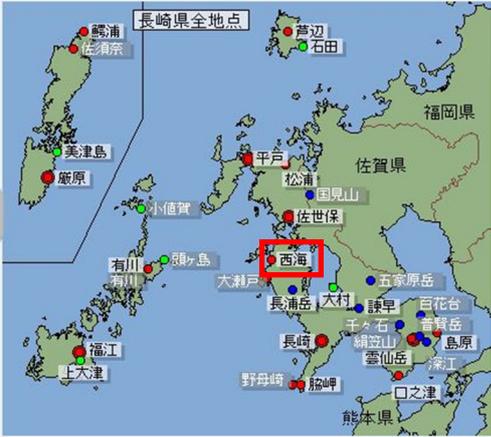
地震・津波・火山

- 地震の活動状況
 - 最新の活動状況(速報データ)
 - 最近1週間程度の活動状況
 - 各月の地震活動のまとめ
- 地震・津波の観測・解析データ
 - 震源リスト
 - 震度データベース検索
 - 発震機構解
 - 国内の地震の解析結果
 - 海外の地震の解析結果
 - 強震観測データ

検索条件 選択済みのデータ量 0% 100% (上限)

地点を選ぶ 項目を選ぶ 期間を選ぶ 表示オプションを選ぶ

他の都道府県を選ぶ 地点選択の使い方 この画面で選択したすべての地点を削除



画面に表示 ▶

CSVファイルをダウンロード ▶

選択地点・項目をクリア

選択された地点 観測項目
← 地点を選択してください

選択された項目
← 項目を選択してください

選択された期間 (日本標準時)
null年null月null日から
null年null月null日までの日別値を表示

選択されたオプション
利用上注意が必要なデータを表示させる
観測環境などの変化以前のデータを表示させる
ダウンロードデータはすべて数値で格納

推奨ブラウザ: Microsoft Edge(最新版), Mozilla Firefox(最新版), Google Chrome(最新版)

ご利用にあたっての注意点

検索条件 選択済みのデータ量 0% 100% (上限)

項目選択の使い方 すべての選択済みの項目をクリア

データの種類の詳細

時別値

日別値

2日別値

半旬別値

旬別値

月別値

3か月別値※

最初に選択してください

過去の平均値との比較オプション

平年値も表示

平年値からの差(比)も表示
(平年値: 1991年から2020年の30年平均値)

前年までの1年平均も表示

前年までの1年平均からの差(比)も表示

項目 気温 降水 日照/日射 積雪/降雪 風 湿度/気圧 雲量/天気

日平均気温

日最高気温の日平均

日最低気温の日平均

日最高気温

日最低気温

日最高気温の日最低※

日最低気温の日最高※

日平均気温 25℃以上の日数(日)

日平均気温 0℃未満の日数(日)

日最高気温 25℃以上の日数(日)

日最高気温 0℃未満の日数(日)

日最低気温 25℃以上の日数(日)

日最低気温 0℃未満の日数(日)

※官署(気象台等)のみ値があります

最高・最低(最大・最小)値の発生時刻を表示

▶

▶

選択地点・項目をクリア

選択された地点 観測項目

西海 観測項目 削除

選択された項目

日最高気温 削除

選択された期間(日本標準時)

null年null月null日から
null年null月null日までの日別値を表示

選択されたオプション

利用上注意が必要なデータを表示させる
観測環境などの変化以前のデータを表示させる
ダウンロードデータはすべて数値で格納

● [ご利用にあたっての注意点](#)

推奨ブラウザ: Microsoft Edge(最新版), Mozilla Firefox(最新版), Google Chrome(最新版)

検索条件 選択済みのデータ量 0% 100% (上限)

期間選択の使い方

連続した期間で表示する

最近1年

▼年 ▼月 ▼日から

▼年 ▼月 ▼日までの日別値を表示

特定の期間を複数年分、表示する

▼月 ▼日から ▼月 ▼日の値を

▼年から ▼年まで表示

▶

▶

選択地点・項目をクリア

選択された地点 観測項目

西海 観測項目 削除

選択された項目

日最高気温 削除

選択された期間(日本標準時)

null年null月null日から
null年null月null日までの日別値を表示

選択されたオプション

利用上注意が必要なデータを表示させる
観測環境などの変化以前のデータを表示させる
ダウンロードデータはすべて数値で格納

● [ご利用にあたっての注意点](#)

推奨ブラウザ: Microsoft Edge(最新版), Mozilla Firefox(最新版), Google Chrome(最新版)

WBGT の確認方法 環境省 HP「熱中症予防情報サイト」

English | 中文简体 | 中文繁体 | 한국어 | モバイル版 | 携帯版 | 環境省

熱中症予防情報サイト

ホーム **全国の暑さ指数** 熱中症特別警戒情報 熱中症警戒情報 暑さ指数について 熱中症対策 普及啓発資料 関係府省庁の取組 民間事業者との取組

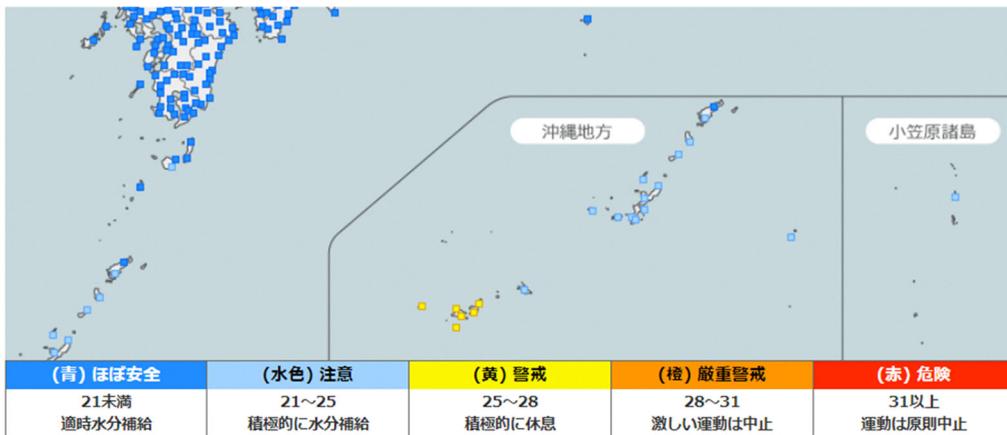
ホーム > 全国の暑さ指数 > 暑さ指数の実況と予測

熱中症警戒アラート を発表しました [\[地図を表示\]](#)

全国の暑さ指数(WBGT)

暑さ指数の実況と予測 地図表示・グラフや日表	暑さ指数ランキング 日時エリア別のランキング	暑さ指数メール配信サービス 個人向けのメール通知
暑さ指数電子情報提供サービス 事業者向けのCSVファイル提供	暑さ指数週間頻度集計ランキング 毎週月曜更新	暑さ指数と熱中症救急搬送人員 速報 毎週木曜更新
熱中症リスクカレンダー 過去5年間の日別暑さ指数一覧表		

暑さ指数(WBGT)の実況と予測



暑さ指数(WBGT)の過去データ

※地点を選択して、過去データのページを表示することができます

九州地方 ▼ 長崎 ▼ 西海 ▼

暑さ指数(WBGT)の実況と予測

グラフ 日表 **過去アーチ** 地点を選択 九州地方 ▼ 長崎 ▼ 西海 ▼ 地図

西海(長崎)

実況推定値(速報版)

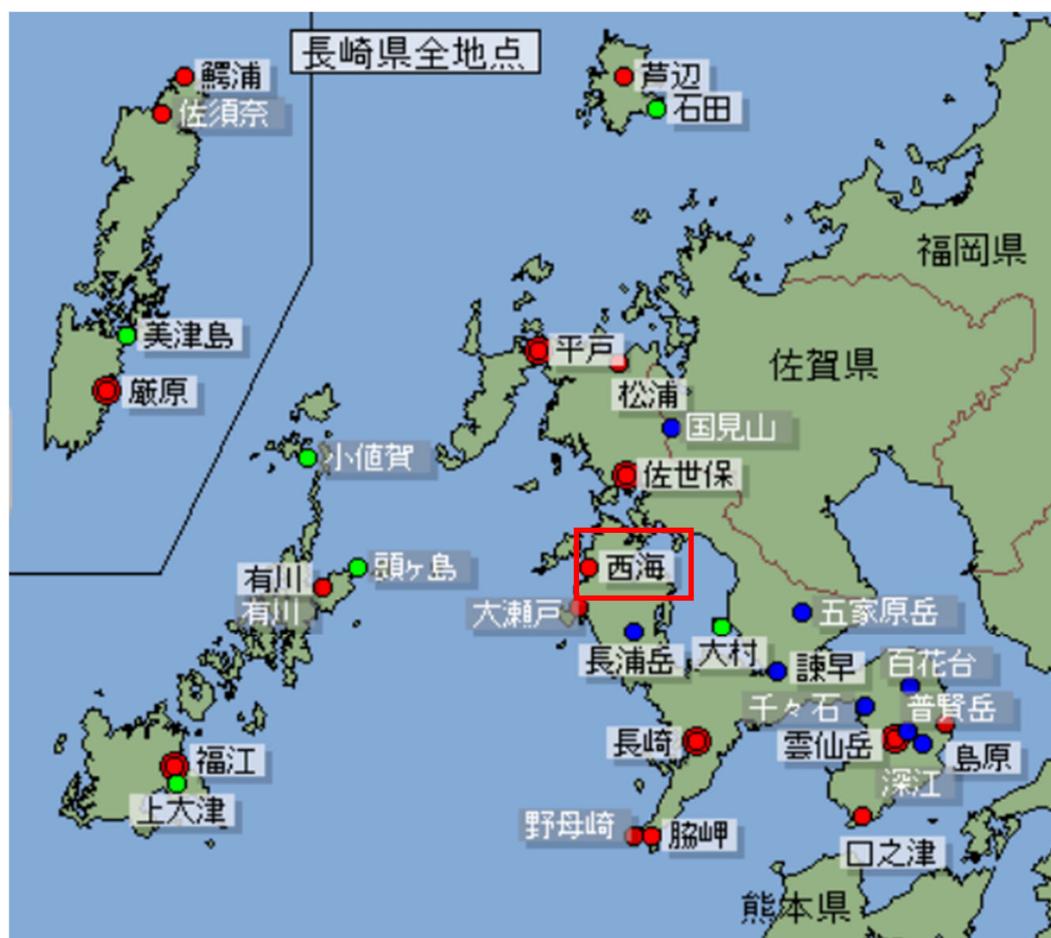
2024年 4月 5月 6月 7月

実況推定値(確定版)

2023年 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月
2022年 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月
2021年 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月
2020年 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月

○気象庁の観測所

都府県 振興局	観測所 番号	種類	観測所名	かかけ名	気象情報等に表記する名称
長崎地方気象台管理					
長崎	84012	四	鱒浦	ワニウラ	対馬市鱒浦
長崎	84072	官	厳原	イヅハラ	対馬市厳原 <small>西海</small>
長崎	84076	官	美津島	ミツシマ	対馬空港
長崎	84121	四	芦辺	アシヘ	壱岐市芦辺
長崎	84122	官	石田	イシダ	壱岐空港
長崎	84171	官	平戸	ヒラト	平戸
長崎	84183	四	松浦	マツウラ	松浦
長崎	84266	官	佐世保	サセボ	佐世保市千原町
長崎	84306	四	西海	サイカイ	西海市西海
長崎	84341	四	有川	アリカワ	新上五島町有川郷
長崎	84361	雨	長浦岳	ナガウラケ	長崎市長浦岳
長崎	84371	官	大村	オオムラ	大村
長崎	84441	雨	諫早	イハヤ	諫早
長崎	84496	官	長崎	ナガサキ	長崎市南山手町
長崎	84519	官	雲仙岳	ウンセンダケ	雲仙岳
長崎	84519	官	雲仙岳	ウンセンダケ	雲仙岳
長崎	84523	四	島原	シマハラ	島原
長崎	84536	官	福江	フケ	五島市木場町
長崎	84537	官	上大津	カミオヅ	福江空港
長崎	84561	四	口之津	クチノツ	南島原市口之津
長崎	84597	四	脇岬	ワキサキ	長崎市脇岬

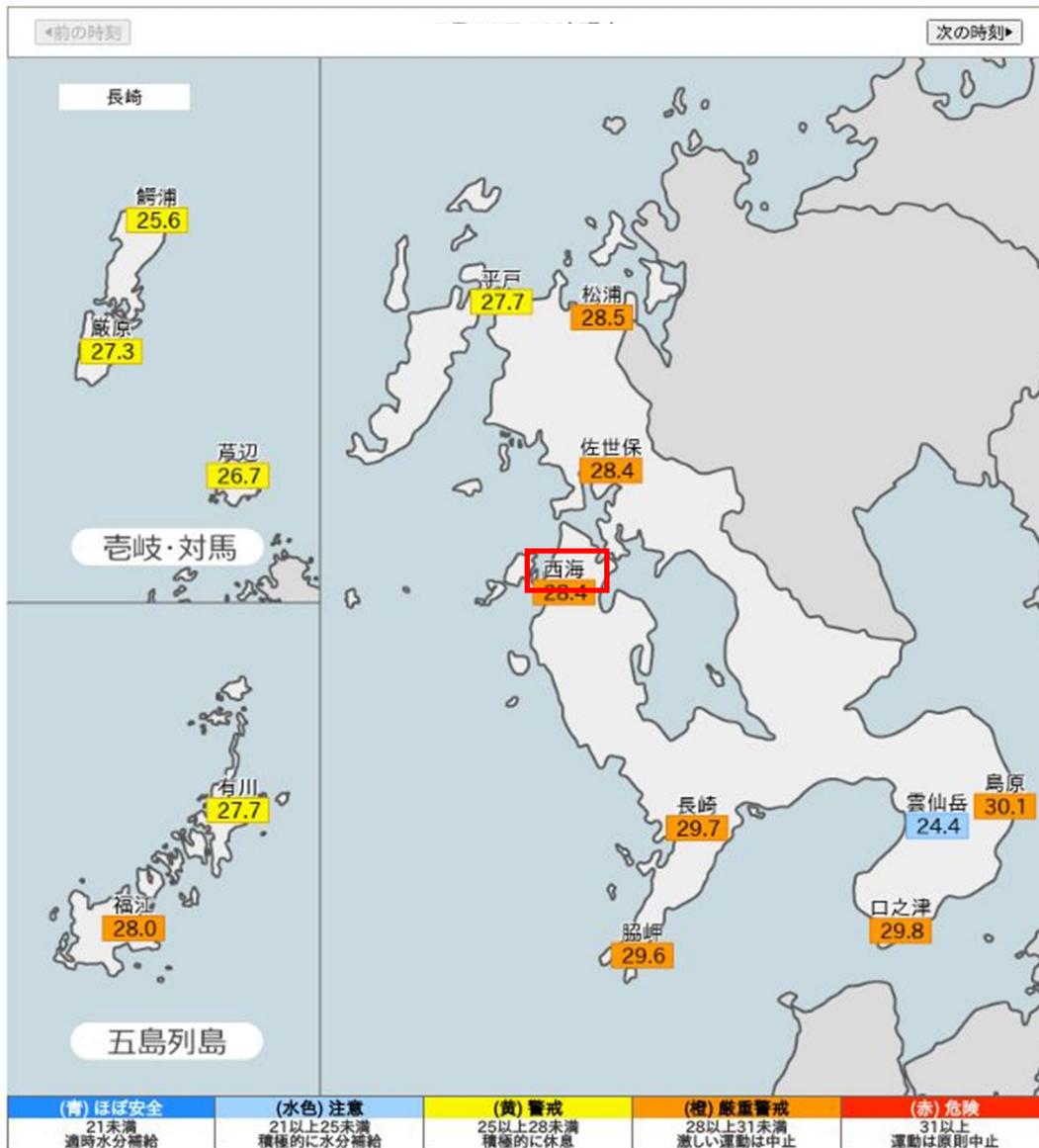


○環境省の観測地点(WBGT)

九州	長崎	84012	鱒浦	わにうら	WANIURA	対馬市上対馬町鱒浦字カキセ
九州	長崎	84072	厳原	いづはら	IZUHARA	対馬市厳原町東里 厳原特別地域気象観測所
九州	長崎	84121	芦辺	あしべ	ASHIBE	杵岐市芦辺町国分東触
九州	長崎	84171	平戸	ひらど	HIRADO	平戸市岩の上町 平戸特別地域気象観測所
九州	長崎	84183	松浦	まつうら	MATSUURA	松浦市志佐町里免字辻ノ尾台
九州	長崎	84266	佐世保	させほ	SASEBO	佐世保市千鳥町 佐世保特別地域気象観測所
九州	長崎	84306	西海	さいかい	SAIKAI	西海市西海町中浦南郷
九州	長崎	84341	市川	あしがわ	ASHIKAWA	市松浦郡新上五島町市川郷字上原
九州	長崎	84496	長崎	ながさき	NAGASAKI	長崎市南山手町 長崎地方気象台
九州	長崎	84519	雲仙岳	うんぜんだけ	UNZENDAKE	雲仙市小浜町雲仙 雲仙岳特別地域気象観測所
九州	長崎	84523	島原	しまばら	SHIMABARA	島原市新湊
九州	長崎	84536	福江	ふくえ	FUKUE	五島市木場町 福江特別地域気象観測所
九州	長崎	84561	口之津	くちのつ	KUCHINOTSU	南島原市口之津町丁
九州	長崎	84597	脇岬	わきみさき	WAKIMISAKI	長崎市脇岬町

地点を選択 九州地方 長崎 地点

熱中症警戒アラート発表中:長崎県



○気象庁の気温の計測方法

ホーム > 知識・解説 > よくある質問集 > 観測機器について

観測機器について

降水量はどのように観測しているのですか？

転倒ます型雨量計で観測をしています。この雨量計の中には、転倒ますという左右に2個の三角形の「ます」を取り付けたものが収まっています。口径20cmの受水器で雨水を受けた雨水が一方の転倒ますに一定量溜まると、転倒ますが転倒し、転倒ますを支えている軸上にある磁石がリードスイッチの前を通るようになっていきます。この時リードスイッチが一定時間ONとなり、電気信号が出力されます。その転倒した際に出た電気信号は、雨量計とは別の場所にある処理装置などに送られ時間毎に合計された降水量を求めています。気象庁で使用している転倒ます型雨量計の「ます」の容積は0.5ミリ相当となっており、転倒ます1回の転倒で0.5ミリ、2回の転倒で1ミリの降水量を観測したことになります。

転倒ます型雨量計の内部



アメダスが設置されていない場所での降水量は、どうしたらわかりますか？

降水の強さの分布は、[気象レーダー](#)、[高解像度降水ナウキャスト](#)のページを、降水量の分布は[解析雨量](#)のページをご覧ください。また、国土交通省の[防災情報提供センター](#)では、関係機関や都道府県が河川管理や道路管理、砂防対策のために設置している雨量観測施設の観測値を見ることができます。

気温はどこで、どのように計測しているのですか？

気温の観測は、風通しや日当たりの良い場所で、電気式温度計を用いて、芝生の上1.5mの位置で観測することを標準としています。また、電気式温度計は、直射日光に当たらないように、通風筒の中に格納しています。通風筒上部に電動のファンがあり、筒の下から常に外気を取り入れて、気温を計測しています。

通風筒(この中に電気式温度計が入っています)

